

NOTSS

外科医に問われる手技以外のスキル

外科医に求められるスキルとして、これまで外科医教育は手術手技の習得を中心になされてきた。しかし近年、外科手術関連の医療事故およびその訴訟事例が増加しており、医療安全の面から手術手技以外のスキルについての問題点が指摘されるようになってきた。そのような手技以外のスキルは“non-technical skills for surgeons” (NOTSS) と呼ばれている。

NOTSS には、コミュニケーション能力やリーダーシップなど、様々な人間性の要因が含まれている。このようなスキルの重要性は今まで見過ごされてきたわけではなく、古くから高名な先人たちが、優れた外科医のあり方として外科医教育のなかで語ってきた事柄なのである。それが近年、医療安全を中心とした観点から再評価・注目されている。

本特集では、外科臨床におけるチーム医療の推進および若い外科医教育という観点から、様々な立場の著者に、NOTSS の概念に基づいた「望まれる外科医像」について率直に述べていただいた。